

本校卒業生の記事が新聞に掲載されました

中日新聞（平成25年3月2日豊田版）に本校卒業生の青木崇晃さんの記事が掲載されました。青木さんは本校卒業後、プロの太鼓グループ「志多ら」に加入し、頑張っています。



地元での公演を前に意気込む青木さん＝豊田市役所で

太鼓通し成長地元でみせる

豊田出身・青木さん 5月公演意気込み

豊田市豊松町出身の青木崇晃さん（23）が、東栄町が拠点のプロの和太鼓グループ「志多ら」の一員として五月に豊田市の公演で演奏する。松平高校を卒業して志多らに入り、二年間の研修などを経て正規メンバーとなった青木さん。「成長した姿を地元の人たちに見てもらいたい」と心待ちにしている。（諏訪慧）

東栄拠点「志多ら」研修を経て正規メンバー

青木さんは豊松小学校五年の時に、地元の松平地区が拠点の「松平わ太鼓」で太鼓を始めた。両親に連れられて公演を見に行ったのが、きっかけだった。池の上に設けた舞台で練り上げられる激しい演舞に衝撃を受けた。

高校の卒業時には就職するか、本格的に太鼓に取り組むか迷ったが「好きなことをやりたい」と決心。何度も共演した志多らの門をたたいた。

志多らは東栄町の廃校を練習場所とし、多くのメンバーが近くの寮で暮らしている。

研修中は午前五時半に起床し、筋力トレーニングや太鼓の打ち込みに励む日々。厳しいけれど慣れない山里暮らしに途中で辞める人が多い中、二年間をやり切った。準メンバーに昇格。給料が支払われるプロとなった。

二〇一〇年一月には正規メンバーとして一人前と認められた。

豊田市の公演は五月十八日午後六時から、市民文化会館である。昨年五月から二年半かけて五十カ所を回る全国ツアーの一環。青木さんは要の大太鼓を担当し、全十二曲のうち大地の怒りを表現したという「岩山の鼓動」でメーンを務める。「観客を笑顔にするような演奏をしたい」と意気込んでいる。

入場料は前売りでS席四千円、A席三千五百円、高校生以下は一律三千円。◎志多ら☎電0536(76)1708

（記事は中日新聞の許諾済みです）